

彼方小だよ！

家庭数配布

富田林市立彼方小学校

令和5年春休み号

「1年間 ありがとうございました」

校長 藤井 貞彦

このところの暖かさで、校庭の草木も花を咲かせ始めました。暖かな春の訪れを感じます。今年もコロナウィルスについても制限が大幅に緩和され、学校生活も徐々に従来の姿に戻りつつあります。

本日、全学年無事に修了式を迎えることが出来ました。保護者・地域の皆様方には、この1年間、本校の教育活動に温かいご支援とご協力をいただきました。心よりお礼申し上げます。

さて、先週の卒業式ではこの1年間 学校のリーダーとして頑張ってくれた6年生が、元気に本校を巣立っていきました。今年も保護者の皆さんに加えて4年ぶりに来賓の方々にもご臨席いただき、盛大に実施する事が出来ました。

最後の「旅立ちの言葉」では、卒業生・在校生・先生方の思いや願いが一つになり、感動的なフィナーレとなりました。

式辞では、卒業生へのはなむけとして、私の大切にしている言葉を贈りました。

『やってみなはれ！ やらなわからしまへんで！』

これは「サントリー」の創業者、鳥井信治郎氏の言葉です。彼は日本で初めて国産のウィスキーを作った人です。当時、ウィスキーづくりは日本の気候では絶対に不可能だと言われていました。猛反対する周囲の声に対して、彼は「やってみな、わかりまへんやろ。」と挑戦を続けました。そして、14年という長い歳月とそれまでの儲けすべてを費やして、苦勞の末に満足のいく製品を作り上げました。なぜ彼はそこまで国産にこだわったのでしょうか？そこには、自社が儲けるためではなく、「人々に安全でおいしい洋酒を手軽に味わってほしい。」という強い思いがあったのです。

社長である彼は、社員にいつもあの言葉をかけ続け、「サントリー」を押しも押されもせぬ一流企業に成長させていきました。「サントリー」では現在でも、この合言葉のもと、常に新しい事業に挑戦し続けているのです。私も校長として先生方に子どもたちのためにチャレンジするように「やってみなはれ」と声をかけるようにしています。

今年度も緩和されたとはいえコロナ対策を施しながらの教育活動でした。どの学年も工夫をこらしてできる事に取り組みました。子どもたちも困ったことや悩んだりしたことが、たくさんあったと思います。しかし、困難から逃げずに乗り越えることが、成長につながるのだと考えています。今後も「やってみなはれ」精神で子どもたちのために失敗を恐れず、前向きに教育活動に取り組んでいきます。来年度も、引き続き温かいご支援、よろしく願いいたします。